

山東省立農業大學  
植物系  
中日合資  
利川風電島  
1955

二六七  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九

泰山  
紅林  
是 10 個  
：—3

⑦

多沒空  
雨

(第十三)

藻岩山

藻岩山(I)天然林  
June 10日設置 10  
June 17 S.2頭 3  
June 23 3

104=2

Ⓐ カラマツ造林地  
June 19 設置  
50

20-B 1頭

21 ) B 7頭

23

2-B 3頭

June 24 痘

6-G 2頭

9-S No. 47  
~~~~~

ヤマシキの巣 GIP(4個) 鳥見  
June 18 1955 藻岩山天然林  
撮影 3枚

キジハトの巣 (ap+?) "

Photo.  
"アゲハ  
エイ、ヤナギドリガ)" July 5, 1955

July 6 日 18巣 GIP  
7日

IV"314ヨウ 鰐3羽見  
藻岩山天然林 July 4'55

Ⓑ June 23 設置  
20個  
June 24 痘

7-G  
10-A  
13-G  
16-G

Ⓓ June 23 設置  
15個  
June 24 痘

2-B  
12-G  
11-G

Ⓒ June 23 設置

18ID  
10-B  
13-G

June 21

Sorex 死体捨擲 (歌奈ナシ)  
藻岩山道路工

June 25 曙

- (B) 10 - G
- 20 - A
- (C) 10 - B
- (D) 3 - R. Rutilus
- 4 - B
- 12 - G
- 14 B

June 26 晴 110422 B.C.D  
金井上山

- 3 - G 1
- 7 - B 1

- (B) -
- 4 - G
- (C) - B

- 7 - G 5
- 13 - G 2P
- 18 - A

- (D) 10 - G
- 11 - G
- 15 G

June 27 晴

June 28 雨

June 29 晴

110429 21°C 22°C

1 - A 1

3 - B 1

5.5

July 2 10°

2 - Sorex shintos 1

G 1

3 - Sorex unguiculatus 1

4 - G 1

1 - G 1

6 - G 1

240 月毛丸  
200 丸

150 丸

42

200

150

July 3

4 - G 1

9 - A 1 5

290

1730

270

July 6

6 - S. shintos 1

July 7

7 - G 1 olive

(F) 1942.7. 漢山天紅林  
July 6 日設量

| July 17 | B  | 被多  | 宝多  | 中   | Duff | 中    |
|---------|----|-----|-----|-----|------|------|
| 4       | -  | "   | "   | "   |      |      |
| 5       | -  | G   | "   | "   |      |      |
| 6       | -  | G   | "   | "   |      |      |
| 9       | -  | B   | "   | 斜多少 | 但    | Duff |
| 12      | G  | 被多大 | 宝多中 | "   | 多    |      |
| 14      | B  | "   | "   | "   |      |      |
| 26      | G  | "   | 少   | "   |      |      |
| 37      | A  | "   | 中   | "   |      |      |
| 38      | Q  | "   | "   | "   |      |      |
| July 8  |    |     |     |     |      |      |
| 14      | -B |     |     |     |      |      |

厚賀行  
July 9 — 15日 1955  
P.N.6-17 BT+H 宝多宝多 大  
6-9 Bカスミナガ 中倒木  
6-6 B 被多小倒木  
12日 宝多中 duff 大  
1-4 B 被多木ヨモギ  
宝多小(但)  
Duff layer  
多  
1-14 B 被多 宝多 小  
但 Duff layer  
多  
1-21 B 被多 中  
宝多 中  
Duff 多

2-11 A 被小 室中  
Duff 多

口-9B 被中 倒木  
室小

オ-9B 被大 アサミズゲ  
室中 Duff 中

口-4G 被多 室多  
Duff 括少  
但し近い下  
倒木 多  
(既耕地)

12日

1-5 G 倒木、カエデ、モコヒキ  
落葉木群生  
被多 小 室多 括少  
Duff 中

1-7 G ツツジ花 アサミズゲ  
被多 中 室古中 Duff 多

1-20 B カトウ、アドミラル  
被大 室多 括大 Duff 大

口-5A ヒメカラシヨモギ  
球生 塵地  
被少 室少 Duff 括少  
4m 3m 1.6m = 7.24ha  
倒木 多 括少

1F-3 B ヨモギ テンリュウモギ  
球生

被少 小 室少 小 Duff 括少  
4m 3m 1.6m = 7.24ha

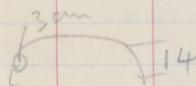
口-2 A テンリュウモギ 球生  
~~アサミズゲ~~ テンリュウモギ  
アサミズゲ 多

被多 少 室多 中 Duff 括少

口-3 A テンリュウモギ ヨモギ  
テンリュウモギ 室生  
被大 室多 括少 Duff 括少

(B-7) ① 連作地, 地上部  
3月出芽  
種子供・苗育中, Duff 中

アカネスの葉 ① 遊佛地, Duff  
カニコモの疎生, 倒木空洞  
中ハ管巻  $24 \times 14\text{cm}$   
林下地  $27(55+11+7)$  本  
吹葉サナギ枯葉 每1木の面  
 $\frac{1}{2} \text{m}^2$



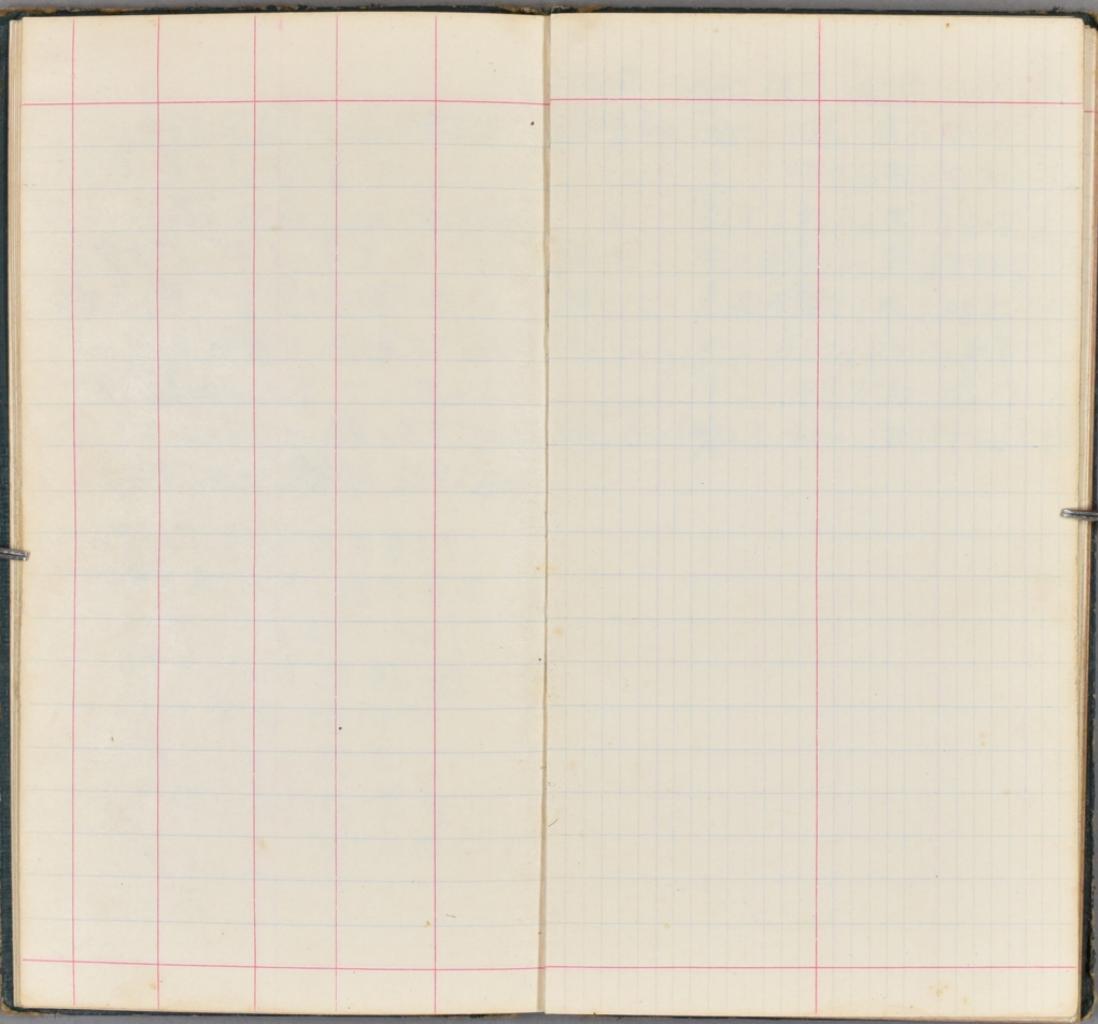
24

74  
81-

アカネスの葉 ② 焙拂地  
以降の3月もや疎生  
倒木種下例 中ハ管巻  
倒木西 (24)  
10cm  
15cm

1954年から開花結果して  
ミヤコザケリはこの年全部  
死滅したが、根はまだ  
残れておらず、1955年  
7月雨に立つの開花結果  
実を見た  $50\text{cm}^2$  に  
34本 一本の粒数 81  
— 50 粒 但し2の中  
 $\frac{2}{3}$  が不稔となつた。

1954年夏 終美した時の  
出芽本数 第一試験地  
 $1\text{m}^2$  105本  
焙拂地  $1\text{m}^2$  446



種類 P.N. 社会 実験 Duff locality, Date その地産生

|    |       |   |    |    |               |               |               |
|----|-------|---|----|----|---------------|---------------|---------------|
| B  | 6-17  | 大 | 頂大 | 夏  | 厚葉誠陵          | July 14, 1955 | ササ 薩不ナスツ      |
| A  | 1-17  | 中 | 中  | 早  | "             | "             | ササの木山石の雨化     |
| B  | 1-11  | 大 | 中  | 夏  | "             | "             | 倒木と落葉下灌シタヒニコト |
| IA | 口-10  | 中 | 中  | 中  | "焼付地"         | "の横           | サカエビ"灌木群草     |
| B  | 15-10 | 小 | 初大 | 初多 | "伐開地"         | "の下茎 倒木枝葉等    |               |
| B  | 7-6   | 小 | 小  | 中  | "オホミヤ July 15 | 大木倒木の下草       |               |
| B  | 5-20  | 大 | 中  | 中  | " "           | " "           | トガの灌木林, スミレ   |
| B  | 5     | 大 | 中  | 中  | 藻岩山           | July 23       | 2m 径のヤシと清水    |

東6南9

トコトコ - Pus 3 July 22

6-A1

⑨ No. 422 萩岩山  
 July 22 25° 沿空  
 1-10 ハサカツブト  
 ナイテウツヨモギ等  
 a bush  
 No. 5 ~~無名~~ B  
 July 23 No. 5 - B

Aug 5 - 8 1955 羊蹄山并集

④ 6合目 No. 6 *Sorex myos*  
*culatus* 合

ササセツバ地 (2m-2.5m)

ナシタ実林 雜木大

落葉小 Duff 8-10cm

近山に 植木 (30cm 位)

ホリミツバ等 77 通路あり

羊蹄山天狗林 (カニバ)  
 ササ) 2" F EX ヒメヌマズキ  
 ドクエゾヤナギ 1F 少し  
 地上に花畠, ハイマツ等  
 2" にはシマツがとある

の木  
 廃 (京極湖) 焼却  
 生林地 紅葉し難い  
 草木 ハサウエイ (2m+)  
 被る 大 密度 中, 2"  
 アカネスミカバ dominant

# 羊蹄山

Aug 5 1991 712

此時吸京煙看

京橋駅は人家ありやう

以下非常口頭小瓦物許

## 欧洲军事情报学研究

久之子 豊川ははと  
かく在るおひすと又

→ 太陽=8.9, R<sub>山</sub> 30

くすき野の花

~~横手山~~ 登山口

これまで過去2年少々19回  
名古屋市立大学病院

シカラミナリの連体形  
如アモリ 色ナキ

(2118) (燒熟後)

魁梧大、宏伟中 duff

は歩み L P A N E " み

内斗工場からと小石  
の生産性向上

(右)线由, 避地 2~12(万)

24-24

オ一日目は山の森林を  
見て行きました

Sanjukta 高津 78 部

Camping in v. 19 sp  
9~~0~~ x 12 ft = 21205 cu ft

af sack を 挽く

登頂、山頂の山小屋  
122、宿2、甚草賀井上

1月5全国平均22度

金印 12119 2-1 15012

アリを設置。太田は

tent 附近に  $w^{\circ} 42^{\circ}$   
35°

22 远牛-日用防印高津体

宇宙と力一日の磨き

1893 m の頂上山

小屋 17-11 19日夜8  
其

時項、日中暑中乙(平)

山小屋についと、奥二人共  
支川水をへて、アーハウス  
を食つて、9時半頃山小屋  
近くへ万花爛(20kg)  
ハイマツ帯周辺に10ヶ  
9時半2コエビ登る  
月夜の山は、仕事は比較  
的容易。  
2日目  
ハイマツ林にかけた194  
22232.1km/hで一致と  
れ左の4  
二人共植物や景色を  
撮影したが、向こなし  
gasが少ないので未だ  
二人下山 5合目附近  
これで登つて車を  
太田、芳賀に会う  
Schlaf Radとゆか  
17下山

下のオゼンツ2合目で  
~~カムカム~~ 1合目  
ヒメネズミ2頭と小鳥  
サ・Campについと  
井上 登山高津さん  
二人共造林地400m  
電柱 20個を設置  
又二人共籠の人家にまづ  
1升尾ヒン5本をさく  
水をも3.4Lと  
3日目  
上の三人は下つて東大井  
駅で二人共5合目まで  
再び登り皆と会  
8合目 6合目  
ヒメネズミ カリとれ  
左カニハ 延の天井  
林木、ねえ大密、中  
durf 中

延(2~3m)の中の倒木の近く  
2~3種、2~3個下部を2道路が  
2~2m 途路横。

4合目付近 *Sorex*  
uniquiculus 6一致  
ヒメホツコロ 2頭  
エゾナリ 4 1頭それ2

方2合目付近 10:42 平尾  
エゾホツコロ 沿着 沿着  
ウサギ 武士さん  
家 1宿、  
木四日目 中島森 摂津  
館見学 徒歩孔

## 中標津行 1955

Aug 14 夜 10時半 大門是登  
Aug 15 朝 6時 帯衣上り  
井次さん 宮山立彦  
次川2" 宮井局会田  
氏立彦  
11時 17分 帯衣上り  
中標津駅口 (口)  
6時 20分 帯衣  
中標津直林署 宮山立彦  
1宿

Aug 16 虹別着

↓  
Aug 19 午後 池江翁  
ルエドンテムニカエシ  
2" 植集

Aug 19. 一泊 中標津  
署 1次川 2" 羊子立彦  
一泊 20 午前 細野走回  
12 21日朝 墓木

Sorex 灰 9.15

No 1

Aug 16

No 1 S. shintō

♂

No 2 S. unguiculatus

♀ 脂厚 14×10 6 22

skin gland 7 g

TL 129 FF 9 (11.6)

T 46 E 6

HF 14 (15.5)

No 3. S. unq.

♀ 若

TL 122 FF 9.5 (11.8)

T 50 G 7

HF 14.5 (15.8)

✓ No 4 S. unq.

♀

TL 130 AF ~~8.8~~ 8.8 (11.0)

T 49 E 7

HF 13.7 (15.0)

gland T 3

✓ No 5 S. unq

♂ (permis 12mm)

TL 125 FF 9.7 (11.7)

T 51 E 7.5

HF 14 (15) gland +  
testes 1.5 × 1 mm

✓ No 6 S. shintō

♂

TL 111

T 51

HF 13 (13.6)

HF

G 17.5 permis brown

No 7 S. shinto

♂

TL 106 E 7

T 49

HF 12(13) Penins 7 mm

No 8

♀

TL 106 HF 12.5(13.5)

T 50 G 7

No 9

♀

TL 111 HF 13(14)

T 50 E 7

No 10 S. sp. 2<sup>nd</sup> fl

TL 103 HF 12(13)

T 49 E 6.5

Aug 17

✓ No 11 S. unguis.

♂ Penins 10 mm

TL 118 F/F 9.0(11.2)

T 47 E 7

HF 14.5(15.6)

gland T 2

✓ No 12 S. unguis

♀

TL 126 FF 9.7(12)

T 48 E 8

HF 14.5(15.6)

gland T 2

✓ No 13 S. unguis

♂

TL 124

T 48

HF 14.5(15.5)

FF 9(10.7)

T 47

✓ No 14 S. shimto

♂ 葫芦

TL 109 E 7.5

T 50

HF 12.5 (13.5)  
gland t<sub>2</sub>

No 15 S. shimto

TL 102 E /

T 86

HF 12 -

No 16 S. shimto

TL 109 ♂

T 48

HF 12 (13)

✓ No 17 S. unq 18日

+ ♀ 若

TL 120 FIF 9.3 (11)

T 49 E 7.

HF 14 (15)

✓ No 18 S. unq

♀ 若

TL 121 FIF 9 (11.1)

T 49 E 7

HF 13 (14.5)

✓ No 19 S. unq

♂ 若 Penis 11 mm

TL 122 FIF 9.5 (11.2)

T 50 E 7

HF 14 (15)

✓ No 20 ♂

Penis 10 mm

TL 125 FIF 9.5 (11.5)

T 50 E 7

HF 14.5 (15.5)

✓ No 21

♂ Penis 10 mm

TL 121 FIF 9.5 (11.1)

T 50 E 7

HF 14.5 (15.2)

✓ No 22 S. unguis

♀

TL 113 HF 9.5(11.5)

T 48 E. 7

HF 14.2(15)

✓ No 23

♂ P. 10mm

TL 121 HF 9.8(11.8)

T 50 E 8

HF 14.8(11.8)

✓ No 24 S. unguis

~~SEPARATED~~ ♀

TL 109 HF

T 48 E 7

HF 12.9(13.5)

✓ No 25

♂ P. 5mm

TL 109 HF

T 47 E 7.5

HF 12.8(13.5)

✓ No 26

♂ P. 6mm

TL 110 HF 13(13.5)

T 49

HF

✓ No 27

♂ P. 6mm

TL 108 HF 12(13)

T 50 E 7

No 28

TL 103 HF 12.5(13)

T 48 E 7

No 29 S. unguis

TL 122 HF 14.(15.5)

T 48

HF 9.5(11.5)

E 7

Aug 19

✓ No 30 S. unguis

♀ 老 雄性

TL 12.2 RF 9(11)

T 49 E 7

HF 14(15)

gland +3

✓ No 31 S. unguis

♂ P. 10mm

T 12.7 RF 9.8(11.5)

T 50 E 7

HF 14.8(15.2)

Tail Vert. 16

✓ No 32 S. unguis

♀

T 12.3

T 50

HF 14.5 (15)

RF 9.5 (11.5)

E 7

✓ No 33 S. slinata

♂ P. 6mm.

TL 101 RF

T 39 E 7

HF 12.5(13)

Tail Vert. 13

✓ No 34

♂

TL 105 RF

T 47 E 7

HF 12.5 (13.3)

✓ No 35

♂

TL 106

T 48

HF 12.5 (13)

RF 7

E 7

No 36 s. wing

TL 118 RA 9.5 (12)  
T 49 E 7  
HR 14.5 (16)

No 39

TL 108 RA  
~~T 50~~ E 7  
HR 12.5 (13.5)

No 37 wing

TL 121 FF 9. (11.5)  
T 50 E 7  
HR 14.5 (15.5)

No 40

TL 103 RA  
T 46 E 7  
HR 11.5 (12.5)

No 38

TL 104  
T 48  
HR 12.5. (13.4)  
FF  
E 9

No 41

TL 110  
T 44  
HR 13.5 (14.5)  
FF 8.5 (9.8)  
E 7

✓ No. 42  
♀ 雌 ( $1.5 \times 1\text{cm}$ ) 6頭  
TL 72.5 RF ~~7.5 (11)~~  
TF 48  $\approx$  6.5  
HF 13(14.4)

No. 45  
TL 109 RF  
T 52 T  
HF 12 (13)

No. 43  
TL 117 RF ~~7.5 (11)~~  
T 50 G 7  
HF 13.5 (18.3)

No. 46  
No. 47

No. 44  
TL 11.4  
T 48  
HF 13.5 (15)  
HF 8.5 (14)  
 $\approx$  7

柱剥離  $\pm$  32% 這木  
周辺の 1.~ 2.  
がエシにて すず葉  
造林地内は全刈り  
竹林  $\pm$  2.12 ため 神社  
ある、共に水。  
周辺はハギコモキ  
カヤツの他 草木が密  
生し (7-8.0 cm) 木本剝  
離が密多 layer

野口別 遠林地 122

昭和 29 年 11 月

菊池の宿食

カゴ trap 70 ヶ

18 20 例 84 例

種の内中は毎回

2-30 例 1 キリ中

4 例 と中 例

それ以下 と中 例

多くを 例

トカラリネズミ 例

これ 例

## 虹ヶ岳 附近の鳥類

アラチ、ホイアカ

オーマニコ ~~シマセキ~~ (草生)

シマ 鳥生で 青鳥生中

オナガ (ホウノウ)

エリトリ ~~シマセキ~~ (シマ)

キ (シマ) オーラス

ミササギ (ホウノウ)

ヒンズリ、ハシセキ

レイ エリセニニコ

ハミツツブ オーラス

ハリオアマツハシ

利尻

Sept 6 - 11

1955

Sep 6 夜 9時36分到着

Sep 7 朝 駅内→礼文

船泊経由 利尻ツツ

形着 → バスにて

駕泊着(午後5:40)

荷物置き担当員案にて

一泊 附近の奥地

及ウトドマツ林にて

キャンプ設置

礼文船泊一帯は全く

喬木のない草本と葦の

上の裸山が抜がつ

ていいが、利尻では

火山島であるため

利尻富士を中心とした

地形、それに山地

引き、そこにはこれ

下田 70 448  
80 374  
360 264  
400 160

700 105 922  
400 100

九重地区 強風により  
木のない荒地が広がり  
風化して、溶岩が  
いたりと砂質の層上に  
フコヒキ(黒い)

礼文と豊利海岸にも  
溶岩がござります  
多くしてい

スズメ アホウドリ

駕泊 オハシマシコ

スズメ、ハシブトガラス

イワツバメ、キセキレイ

キジバト、ハクセキレイ

ヤマソロ、ホシガラス

トリ奈川高カツツガラ

リハ 20頭、ゴツカガ

100頭程度居る(担当区認)

154は相当見えた。

旗梓

A 50-100 m ササ地

104ンユ 204

*Sorex unguiculatus* ♀  
一致

B m トドマツ

イソマツの高木林

104ニニ 204

下草少

ササが少し生えて

場所にて P カネズミ

-致

C

~~森林~~ ササ、トドマツ

高木、TS3 頭 カエデ spp

タガキ 214

ササ 実

104ンユ 104 這い過り

設置モスピング

D 500-600 m

森林限界より下へ 154

設置

生えています

E 1000-1200 m

タガキカンバ (2m 位)

204

Sep 9. 一匹もいません

700-800 m のハイマツ

タガキカンバ 混生中に

かけて下草入りガリナス

400 m 左右

シサザイ、ウノアマツバナ

Sep. 8

1600m ハイマツ中の路上  
♂ *Sorex unguiculatus*  
一致拾得 (No.)

Sorex No D (FTRの路上)  
TL 117 E. 5 早  
T 45

FR 9.5(12)

HR 14.5 (16.3)

森林地帯上上のテリ  
カニバの干渉林にてウソ  
の草を観察と毛打見る

Sep. 9

頂上 ハイマツ中で2種見  
1種も見え

1600m附近タケカンベ  
林中にてヤマニギモ  
見る

800m附近タケカンベ中にて  
マミコロ

800 - 900 m 附近  
ハイマツ タケカンベ林中  
122 キニナニコシコ  
ホタル見二ヶ附近  
一帯には相当に  
多くあり全て單独

500 m 附近 キヤンブ  
地トドマツ林中にて  
ゴヨウガモ - 羽見る

⑦ 1600 m 附近タケカン  
ハイ及ハイマツ中に  
204 設置 Sep. 8  
Sep. 9 全部とれ  
1550 m 附近ハイマツ  
ハイマツ 林中にて  
換る  
Sep. 10 ⑦ イイ + 4 2種  
採集若10付近ハイマツ

1600m 附近 ノコギリカワ  
うぐいす 10羽程度の群れ  
見

Sep 10

800m 附近 タカシマヤンヒ  
木やれど オカワラヒ  
一羽 キヌサシニシユ  
3羽 タカシマヤンヒの群  
ビンズイ 一羽見

300m 附近

エゾツバツトドマツ林  
エゾオカワラヒ  
ヒカラテの群

*Sorex unguiculatus* No2  
50-100m ハサカ地 卵

TL 116 AF 9(11)  
T 45 HF 14(15.5)

gland 8x2.8 E ✓

Sep 11

1100m 附近 生長上り  
イタチの巣  
1000m 附近 生長上り  
ワニタカ 頭 pellet

E (700-800m)

ハイマツ下に エゾヤナギ  
タケカンバ下に エゾヤナギ

1頭♀ハゲれ毛老鳥は  
ハイマツ中は 先の入口  
タケカンバ中は 落葉上

F エゾヤナギ 若鳥伴合  
一頭

Sep 12

⑦ 地域

ハイマツのまわりは  
ダケカンバ、ハニキ

下草イワガシヤス  
ゴゼンタツバナ、コモリ  
リンドウ 等

800m付近 ダケカンバ林  
中にエゾラメコウモリ  
500m キヤシトドヒコ  
ヒガラ 鶴羽、オアカゲラ等  
400m付近 ササ地  
ツバメ オグロスズメの  
群

ハイマツ林中は落葉堆  
積は非常に厚く 10-20  
cm位ある。

駒沢利尻山神社  
内 カエデ、ホノアラヤギ  
~~トマツ~~ 林内下草  
ササ、ナツムギササの混生  
のあた所にてエゾヤナギ  
3頭採集、

駒沢 貝木地帯に  
在るハクセキレイカ  
ホウキヒキ  
モセキレイカ  
シロウカツコウ  
アカハラ?

*raffaeansis* spp.

- ⑦ ナツムギ地帯  
毛は柔らかく深い褐色
- ⑦ ナツムギ地帯

1955

大里鳥行 Sep 29-30

Sep 24 復 22.00 孔雀壳

新傳紋 摘内にてヒノボン  
ガラス十二、三羽か採  
命中。

草室跡跡上にてハシボ

ソガラス一羽 又

(25) 1955 北大博物館 附近

タケイカンバ、エゾマツ

アオキモ等の天然林

いニエゾナリ 1頭

○ キリ研究行け也

草地位(ヨモギ木本群)

10' の中 3 五段のエゾナリ

○ 高山油室跡跡裏浜地

立鉢田シダ蘇生(2012)

セイ(天紅茶) いニエゾヤ4

1頭、アカネズミ 1頭

duff layer 少し

体が卯寧山大きく  
毛も輝褐色柔軟  
で古く(天童亮の故  
れぬ)

但し駒泊利辰神社  
内にて木在ものには  
毛は深い計毛とも  
褐色黒褐色味が  
強く特にさしもの  
多いのが特徴的。  
体は普通大

## 瀬浦実驗所上

天紅林 122 点から枝葉  
1頭、ブドウツルが倒れ  
倒木層が相當あり

(3-5cm) 倒木先の地盤のある所

No. 1 Sorex unguiculatus

1頭 捕集二ヶ所近  
下草は殆んどない

大里島 (Sep 25日 54)

監台字亥

1954年から7-8月吹から  
野菜が大發生し野草が  
珍らしく作れなくな  
る。10月吹から野草が  
枯れると監台家に  
屋内にも侵入し夏秋見  
た高粱穀物類等  
が家があつた。  
家畜、りんご等は見えなか

1954年4月  
毎年苞が結実し 1954  
年は種子と結実し  
大發生した野草をせり  
を切り倒し実を食す  
ものが欠けた。

No. 1 Sorex unguiculatus

TL 113 ♀ HF 13.5(15)  
T 45

FF 9.0(12.5) TG 6.5

澳夫、元 (小川) 様 (次郎)

1954年からは6月吹から  
野菜が大發生しキャベツ  
を移植後全部食べられた  
ササの結実は8月吹と思  
われるが大發生は  
ササの結実は8月吹と思  
われる。

28日

力取川や畠 エイナリ  
 那須エイナリ 1, 2頭同時  
 ハセ手取、親峰山中 1頭  
栗地 大形駿早 1  
ササ地 23頭(82早)

中央沢地 ハセ Sorex 1頭  
 顶上ササ地 ハセ Sorex 1頭  
西斜面 ハセ キガニ生立  
 シカ数の生立地 ハセ  
 Sorex 1頭 B1頭(壁落)  
 南 顶上ササ地 B1  
 ung

中央沢地の Sorex (No.2)  
 は湿氣多く、ヨモギ 30cm  
 丈の高草原、ハセ生立地  
 Duff は少い、シカ現れ少く  
 顶上ササ地の Sorex (No.3)  
 は 30 cm ほどの丘陵地  
 duff は比較的多く、ung.

西斜面 ハセ 1キ林(栗  
 林) はシカが生立 duff  
 は普通この附近で 11頭  
 コジロウミツバメの巣穴  
 生立地 ハセ Sorex (No.4)  
 ハセカラスも多  
 Sorex No.2

TL 116 HF 13.5(15  
 T 48 E 7  
 FR 9(11)

(5)

Sorex No.3  
 TL 115 HF 13.(14.3)  
 T 45 E 6.5  
 FR 8.5(10.5) (7)

石村鶴松氏電(80才)

明治の時代後鳥

31歳時山から来た人

かいじひがいと。

木は グケカシム、山

か多かつた

石村進氏(鶴松氏

孫)

鶴松氏克

60年前から大里島

に渡りてゐるが

その当時は、三カの角が“  
喜び”といふ。

リスは全く見られなか

った。ニシニは非常

に多かつた。

最初はアラスカ“33”

あつた。

それまでの下着生は退  
去れとなつたが

1954年冬のねぐら王手

蓋もはなれつた。

立ち台下で立つては

トツカリ(アザラシ)から春

多數来す(雪のあい中)

29日

張地 1ガ"リヤス牛に2B1

カボ4ヤタケルヘ2幼仔 B1

(これは 28日 摺集の幼仔

3頭と同じ litter のも

のと思われる。

次にササ地に2-B1

28日 摺集の Sorex (No4)

と同じ種 Sorex (No5) と摺集

(No5) と摺集

30日

厚岸 25日 Sorex (No1) と

同じ種 Sorex (No2)

摺集 (Sorex minutus)

Sorex (N06) ♂

TL 93

T 41

HF 11 (4.8) RF 6.5 (7)

E 6

### 大里島鳥類

金島 級み所に エニシロ

ウミツバメの 草穴があ

リ持て南半分、燈台

附近に作著らしい

Sep 28 花小花イタドリ

群落内の坂の下に(?)

石穴にて、体は親と

同じく(?)ありが下腹

部にまだ 青先を残し

た雰囲気がいた。壁落着

ハジコヒルズレヅレ

- フサガ→ 梓塚

ユカワミヒナ数トビ 40羽

ヘシフトガラス 多数

ヘシボンガラス 3羽

ウミネコ 多数

ク 多数

ウグリヒス テリのもの多數

ヘリオアマツバハナダ群羽

フクロウ科一頭

(大きさ エリフクロウ 大

スはかづかに小。

鷹 エリフクロウより 背

褐色が濃い(少し)

赤味がかったりする)

モズ 121は ハシブトガラス

スは多數 ヘシボンは

ウグリヒルズレハシブトの群の中混じていた

Sorex (No 1, 6)

鹿児島海上実験所上  
天王林下草は茂らなくて  
アドラツルスカビ葉 mukha  
れ堆積し蘚葉落葉体  
3-5 cm 位あり 濡氣は  
多くミニズが非常に多い

[No 4. Sorex unguiculatus]

TL 112 (4)

T 46

FL 9(11.2)

HL 13(14.5)

G 6.8

支 35

札幌市北大農子部動管  
阿部 永

9